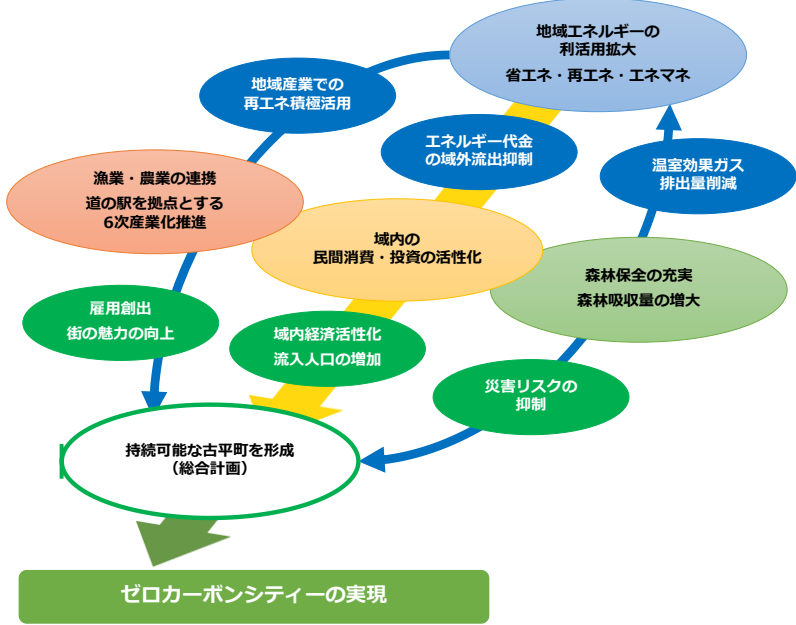


地域エネルギーの利活用による地域活性化効果

地域エネルギーの利活用により、域外へのエネルギー代金の流出の抑制、省エネ・再エネ等の設備投資に関する民間投資の域外流出を抑制することができます。こうして得られた資金は、域内のさらなる省エネ・再エネ投資への活用、新たな産業（農業の6次産業化等）への投資により地域全体の経済活性化に貢献します。さらに、域内経済の活性化により、観光客等の流入人口や定住人口の増加、道の駅等での特産品販売促進等による域内調達率の向上により、民間消費を域内に呼び込み、古平町の地域経済の好循環の構築につながります。

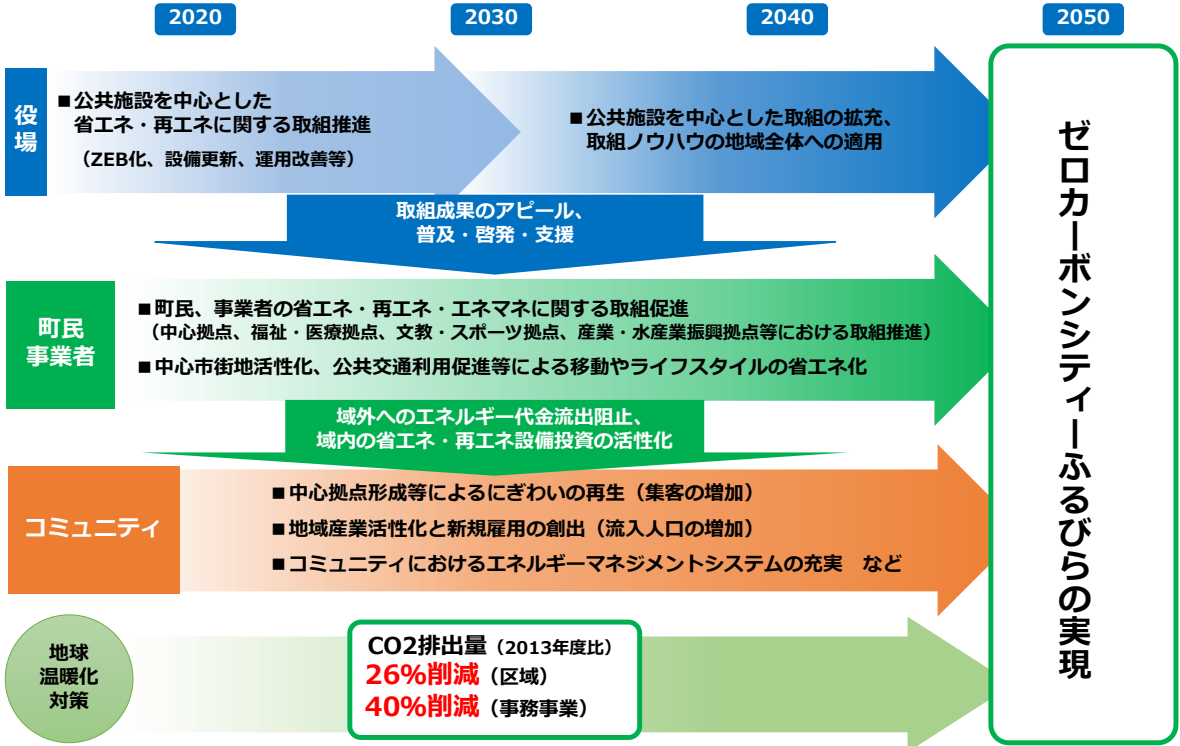


地域活性化効果

観光の活性化、域内調達率の向上など	約4億円
地域エネルギー利活用など	約1.9億円
地域エネルギー利活用を進めるための設備導入など	約22億円

推進方策

町民及び事業者、古平町が連携して地域エネルギーの利活用に取り組めます。地域エネルギーの利活用を進めることにより、地域活性化を図り、古平町の地域特性を活かしたSDGs未来都市の認定や地域循環共生圏の形成を目指して取り組みを進めます。また、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、「ゼロカーボンシティふるびら」の実現に向けて取り組みを進めています。



<問合せ先>
古平町総務課

古平町地域エネルギービジョン

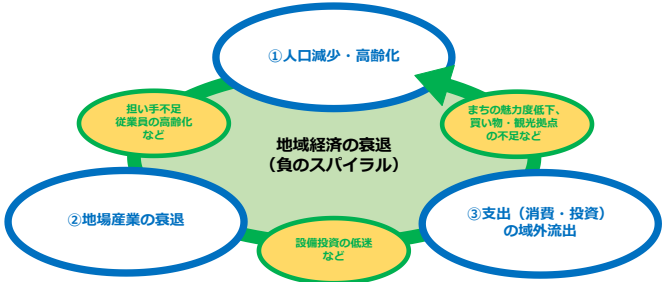
～地域エネルギーを活用した地域活性化とゼロカーボンシティを目指して～

策定の目的

地域のエネルギー資源を地域で活用することにより、地域内での経済循環やエネルギーの多様化・多層化による新たな地域振興・雇用創出に寄与する地域の戦略を示すことを目的として策定します。

古平町の抱える課題

①人口減少・高齢化、②地場産業の衰退、③支出（消費・投資）の域外流出、の3つ課題を抱えています。これらの3つの課題が負のスパイラルとして連動し、地域経済の衰退を招いています。



人口減少・高齢化	・過去5年の人口減少率は約12% ・高齢者人口の割合は41%
地場産業の衰退	・食品加工業が主たる業種 ・製造品出荷額は減少傾向
支出の域外流出	・民間消費は約13億円が域外流出 ・エネルギー代金は約13億円が域外流出

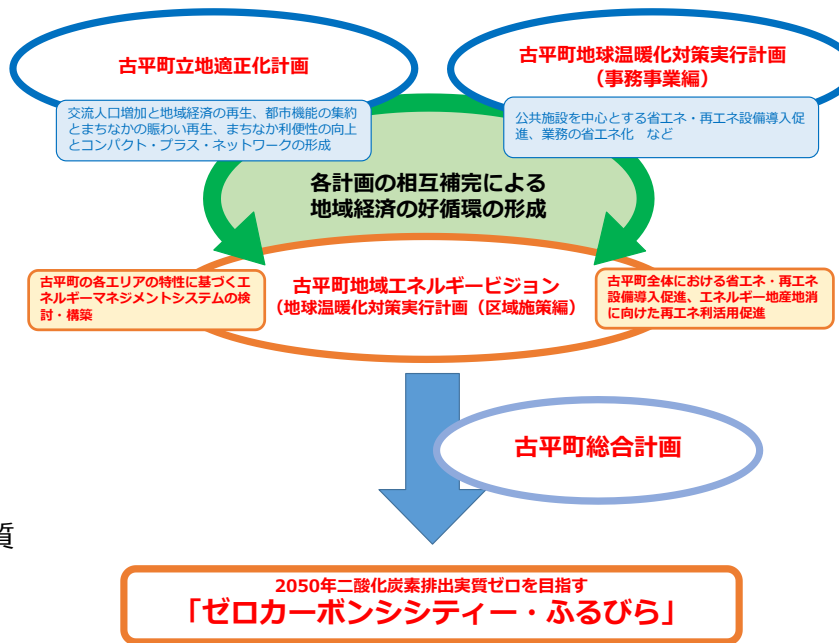
目指す方向性

地域エネルギーの利活用をきっかけに域外に流出している民間消費や民間投資を域内に呼び込むことで、地域内での経済の好循環の創出を図ります。



ビジョンの位置付け

既存施策との相互補完により、地域全体における省エネ・再エネ設備導入促進や、地域におけるエネルギーマネジメントシステムの充実を図り、古平町の支出（消費・投資）の域外流出を食い止め、負のスパイラルからの脱却、地域経済の域内好循環の形成を目指します。なお、地域エネルギーの利活用促進により、地域のレジリエンスの向上にもつなげます。また、本ビジョンを地球温暖化対策実行計画（区域施策編）として位置付け国の目標に準じた温室効果ガス排出削減に取り組むとともに、2050年の二酸化炭素排出実質ゼロを目指すゼロカーボンシティを宣言します。



実現方策

地域エネルギー利活用の取組みの考え方

地域エネルギーの利活用を拡大していくための省エネ及び再エネ、エネマネの取組みの考え方を示します。

省エネ

設備更新・運用改善

- 公共施設や、家庭、工場や事業所における省エネ設備の導入促進・運用改善、並びに公共施設の統廃合等を進めていく。
- 公共交通利用促進や次世代自動車普及等による、運輸部門の省エネ化（ガソリン、軽油消費量削減）を図る。

再エネ

風力太陽光

- 古平町の再生可能エネルギーの導入ポテンシャルのうち、風力が最も大きく、次いで太陽光となっている。これらのポテンシャルは現状の古平町の電力消費量を大きく上回る。
- 今後、風力や太陽光発電の導入促進によるエネルギーの地産地消を進め、地中熱ヒートポンプ普及に伴う電力需要増加への対応や、災害時の地域内の電源確保等に努める。

（出典：都道府県別エネルギー消費統計、環境省・再生可能エネルギー導入ポテンシャルマップ・ゾーニング基礎情報H28）

再エネ

地中熱利用

- 古平町では灯油の需要が大きく、全体のエネルギー消費の35%程度（推計）を占める。
- これに対して、古平町における地中熱の導入ポテンシャルは200TJであり、町内の灯油消費にかかる熱量全体の約2倍に相当する。
- 地中熱ヒートポンプのエネルギー効率^①は、灯油ボイラに比べ30%高く、古平町において地中熱ヒートポンプの導入を促進することで、大きな省エネ効果を得ることができる。
- 今後、町内に地中熱ヒートポンプの導入を促進し、暖房、給湯、温水プールや融雪等のエネルギー源として活用することで、町全体で灯油消費量の大幅削減、省エネ化を図る。
- そのほか、地中熱ヒートポンプ導入による施設園芸の充実、農業の6次産業化促進、地域経済活性化への貢献についても検討する。

（出典：都道府県別エネルギー消費統計、環境省・再生可能エネルギー導入ポテンシャルマップ・ゾーニング基礎情報H28）

エネマネ

- 古平町の公共施設、住宅、工場、事業所などの施設ごと、ならびにコミュニティレベルでのエネルギーマネジメントシステムの充実に努める

地域エネルギー利活用モデルプロジェクトの検討

4つの拠点「中心拠点」「福祉・医療拠点」「文教・スポーツ拠点」「産業・水産業振興拠点」をモデル地区として設定し、モデル地区の特性に応じた地域エネルギー利活用モデルプロジェクトの検討フローを示します。

